

報告事項 No.2 -①

会議録

会議の名称	令和5年度第3回守谷市保健福祉審議会障がい者福祉分科会
開催日時	令和5年10月4日（水） 開会：13時30分　閉会：14時50分
開催場所	守谷市中央図書館 視聴覚室
所管課	健幸福祉部 社会福祉課
出席者	委員 小田会長、椿委員、新田委員、清水委員、中山委員、飯村委員 計6名
	事務局 羽田課長、松井課長補佐、横山係長、新田主事 株式会社名豊 大川氏 計5名

審議経過

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 守谷市障がい者福祉計画（第4期）・守谷市障がい福祉計画（第7期）・守谷市障がい児福祉計画（第3期）（案）について

現在策定を進めている当該三つの計画について、前回会議でいただいた意見を踏まえ作成した計画素案等について内容を説明し、意見を伺った。

【主な意見等】

(委員) 個別避難計画に係る優先作成者は。

(事務局) ハザードマップで、浸水想定区域や急傾斜地いわゆる崖の近くといったところにお住まいの方を先に作るよう国からも示されており、そうした災害時に特に危険な区域にお住まいの方を指している。

(委員) 統計資料の自立支援医療受給者数について、令和3年の交付者数が半分程度になっているのは何故か。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症の関係で、更新期間を迎えた方でも自動的に延長するという自動更新の措置が取られたことにより、「交付者」としてはこれだけ抑えられた形になった。注釈を付けるようにする。

(委員) 当事者団体や施設事業者とのヒアリングでの意見は生の声。きちんと分析した上で、計画に反映し実行願いたい。

(事務局) 当事者団体から意見をいただいた啓発や広報、医療的ケア児等コーディネーター等について、各施策の取組事項として反映した。

(委員) 計画を立てるのは大事だが、その実践は市役所だけではなく、事業所や地域も含めてであり、もっと連携を図れる機会があればよい。また、どのように実行をするかが一番大事。

(事務局) 事業所や地域に直接声を聞くということは必要。こうした機会を考えたい。

4 閉会